

# 科学的根拠に基づく 感染症対策ソリューション推進協議会 《C-SIDE》 設立

新型コロナ感染症対策として、顕著な実績をあげている  
飲食店等の認証制度「山梨モデル」を基本として、  
科学的根拠に基づく感染症対策ソリューションの実施により、  
費用対効果に優れた感染症対策と  
持続的社会経済活動の両立を図る。

## <目的 >

新型コロナウイルス感染症対策として、飲食店の自主的なガイドライン順守、営業時間の短縮要請がこれまで行われてきましたが、十分な効果が上がっているとは言えない状況にあります。

一方、感染症対策の実施を飲食店等の訪問調査により認証する山梨モデルは、これまで認証店における感染者の発生が2件にとどまるなど顕著な効果を上げています。

この山梨モデルを全国に普及させるとともに、これに加えて会員企業・団体から提供される科学的根拠に基づく感染症対策ソリューションを実施し、費用対効果に優れた感染症対策を推進する組織として当組織を設立することとしました。

## 「科学的根拠に基づく感染症対策ソリューション推進協議会

(Council for Solutions of Infectious Diseases based on Evidence:略称C-SIDE)」  
を設立いたしましたので発表いたします。

## <推進協議会>

### 代表団体

**一般社団法人食の拠点推進機構**(略称:JICCE)  
(事務局・評価認証)

### 幹事団体

**一般社団法人食文化ルネサンス**(略称:JGR)  
(広報・普及)

### 会員企業

**株式会社ゼンリン**  
(訪問調査・マッピングシステム)

**株式会社ぐるなび**  
(飲食店LIVEカメラ・WEBサイト)

**cynaps株式会社**  
(CO2センサー)

代表団体、幹事団体の概要、理事メンバー等は次ページをご参照ください。

## 一般社団法人食の拠点推進機構

日本の飲食業をより価値ある文化産業として確立しつつ、地球規模で直面する社会的課題の解決を図るため、食に関する人材育成、研究開発、教育普及等を行う拠点施設の整備と、食のプロフェッショナルのプラットフォーム構築を推進。



JICCE理事長 上村 章文  
 東京大学法学部卒、自治省入省、内閣府政策統括官付参事官(災害応急対策担当)、建設業技術者センター常務理事、地域総合整備財団常務理事、りそな銀行東京公務部特別顧問等を歴任。東京臨海ホールディングス常勤監査役。著書:自治体の危機管理マニュアル(学陽書房刊)



JICCE専務理事 笹田 裕  
 早稲田大学教育学部社会科卒、JR東日本出身、商業施設管理、公共等管理、エリアマーケティングを専門とするコンサルタント。独立行政法人中小企業基盤整備機構 高度化支援アドバイザー。株式会社LMR ファシリティーズ代表取締役



JICCE評価認証委員 医師 青木 晃  
 防衛医大卒の内科医師でもあり、自衛隊医官時代に、NBC(核・生物・化学)兵器の防御・治療、危機管理医療のプロフェッショナルとして活躍。銀座よしえクリニック都立大院院長兼レコール・デュ・ヴァン渋谷校長。



JICCE事務局長 菱田 明男  
 東京都出身、大手飲料メーカープロモーション、PRイベント等を多数手がけた経験からJICCEに参加。C-SIDE事務局長として、創設、計画、運営全般を取りまとめている。

■街ブランディングプロデューサー:株式会社ケイオス 代表取締役CEO、食の拠点推進機構常務理事／澤田 充

■厨房プロデューサー:松下設備工業株式会社 代表取締役、食の拠点推進機構理事／藤野 裕明

その他企画検討委員、評価認証委員、食のプロフェッショナル委員、フードラボ委員、カリナリーテック・フォーラム委員、事業化委員にて構成

# 一般社団法人食文化ルネサンス

日本の食に関わる第一人者で構成され、  
わが国の食を取り巻く様々な課題に対して、民間企業やメディアなど多様な主体と協同して、  
わが国の食文化の発展・推進を担う団体です。

## 理事メンバー

代表理事 理事長:茂木友三郎

専務理事:二之湯武史

石井真介、落合務、岸久、須賀洋介、杉山衛、  
高橋拓児、田中誠二、辻芳樹、中川純一、生江史伸、  
服部幸應、樋口宏江、堀井良教、三國清三、村田吉弘、  
米田肇、鎧塚俊彦、脇屋友詞（五十音順）



茂木 友三郎  
(キッコーマン株式会社取締役名誉会長・取締役会議長)



服部 幸應  
(公益社団法人 全国調理師養成施設協会 会長)



村田 吉弘  
(株式会社菊の井 代表取締役)



二之湯 武史  
(一般社団法人食文化ルネサンス専務理事)

## <目的>

新型コロナ感染症対策として、顕著な実績をあげている飲食店等の認証制度「山梨モデル」を基本として、科学的根拠に基づく感染症対策ソリューションの実施により、費用対効果に優れた感染症対策と持続的社會經濟活動の両立を図る。

### 飲食店情報サイトぐるなび 飲食店LIVEカメラ

株式会社ぐるなび

外食産業において密を避けるニューノーマルな対応として、飲食店の混雑状況をライブ配信するサービスです。飲食店にカメラを設置し、店内の様子を撮影。撮影された画像をAIが解析し、自動判別で人物を匿名化。匿名化した画像を「飲食店LIVEカメラ」特設サイト上に1分おきに更新して表示することで、混雑状況をリアルタイムに発信します。



### WebGISソリューション(拠点案内サービス) 株式会社ゼンリン

各店舗の情報(営業時間、提供サービスなど)と位置情報をゼンリンのサーバーで一元管理し、Webマップ上で可視化するサービスです。

地図機能としては、エリアや提供サービスからの店舗の検索、住所やフリーワードでの検索など、基本的な検索機能がついておりますので、迷わずお探しの店舗を探し出すことができ、尚且つその店舗の詳細情報も併せて確認できます。



※21年4月現在

### Grecord通報管理システム 株式会社LMRファシリティーズ

飲食店訪問調査時の懸念事項として、訪問調査に対応する飲食店スタッフとのトラブル等が挙げられます。訪問調査員が安心して訪問調査を行える体制は必要不可欠であるため、GPS端末とICTを活用した通報管理システムを導入します。

- A) リスク事象※1発生時は調査員所属企業に速報連絡
- B) 飲食店を離脱後、当該調査員より、リスク事象※1※2の情報(店舗・内容等)を収集
- C) 継続調査の視点からリスク事象の事例アーカイブ化(訪問調査実施企業に情報提供)

※1 相手の対応に不安を感じた場合

※2 身の危険を感じた場合



通報管理システム・モニター画面(例)



SOS発信ボタン

(発信位置情報、時間、  
店を即時通知、  
※マッチ箱サイズGPS)

### hazaview(換気アラートシステム) cynaps株式会社

国産・世界最高峰の精度IoT CO2センサーにより、インターネットを通じてスマートフォンやタブレット、PC、サイネージなどマルチプラットフォーム上で測定データを表示。複数箇所の換気状態を同時に遠隔監視・集中管理ができ、換気対策を確実なものにします。

累計100台以上販売。森トラスト、NEC、兵庫県立人と自然の博物館、宮城県登米市など40社以上に導入済みなど、IoTセンサーとして国内最大級の実績を誇ります。



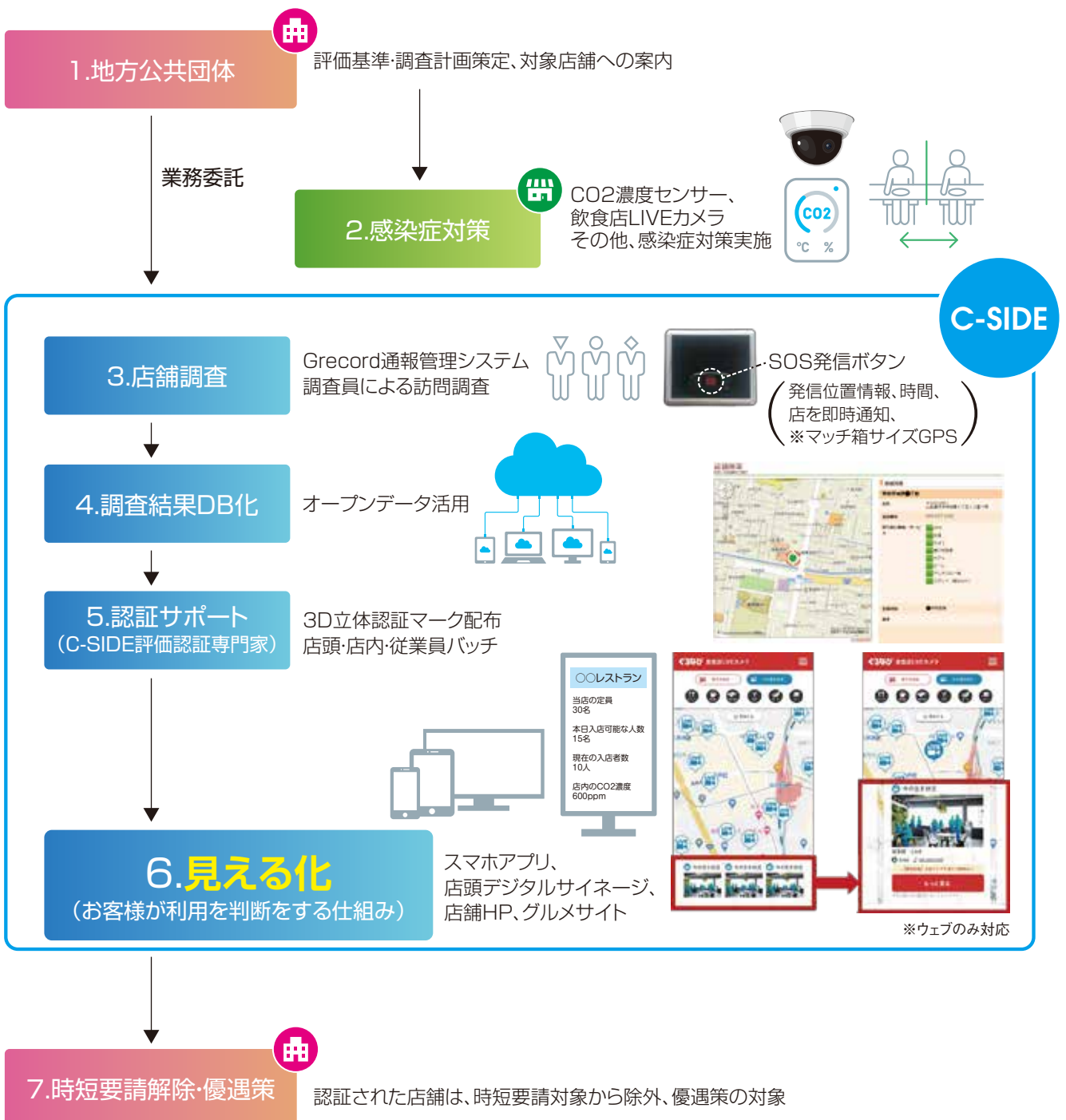


## <実施事業>

# C-SIDE スキーム図

都道府県からの受託により以下の事業を実施する。

- A. 飲食店等の新型コロナウイルス感染症対策の実施状況に関する調査員による訪問調査。
- B. 調査結果のDB化と行政による評価認証のサポート。
- C. CO2濃度等センサー、映像+AI など先進デジタル技術を活用した継続的モニタリング。
- D. 感染症対策情報・モニタリング情報のWEB、スマホアプリ、デジタルサイネージ、グルメサイトによる「見える化」(お客様が対策情報を入手して、利用を判断をする仕組み)。
- E. その他会員企業による感染症対策ソリューションの提供。



本リリースに関する報道お問い合わせ先



**一般社団法人食の拠点推進機構**

<https://jicce.or.jp/>

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-2-10 三光ビル4F

TEL.03-6811-0537 FAX.03-6811-0533

E-Mail [info@jicce.or.jp](mailto:info@jicce.or.jp)

担当：事務局長/菱田 明男 事務局/鳥澤・小木・宮崎

**一般社団法人食文化ルネサンス**

<https://www.jatcc.or.jp/access>

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-13-4新中央ビル3F

TEL.03-6276-3072 FAX.03-3374-6401

E-Mail [shokubunka@jatcc.or.jp](mailto:shokubunka@jatcc.or.jp)

担当：事務局 仲野